

前回定例会（平成23年5月11日）以降の原子力安全・保安院の動き

平成23年6月1日

原子力安全・保安院

1. 東北地方太平洋沖地震以降の柏崎刈羽原子力発電所への指示等について**(1) 外部電源の信頼性確保について**

4月7日23時半頃に発生した宮城県沖地震における北東北全体を供給する電力系統が停止した事態を受け、保安院は、4月15日、各電力会社に対して、原子力発電所への電力供給の信頼性について分析及び評価するとともに、送電鉄塔の耐震性、地震による基礎の安定性の評価や開閉所の浸水対策などの原子力発電所等への電力の供給信頼性をさらに向上させるための対策の検討を指示しました。（5月11日定例会お知らせ済）

5月16日に東京電力などから提出された報告について、今後、保安院は報告書の内容について厳格に確認し、評価します。

(2) 吊り下げ設置型の高圧遮断器に係る火災防護上の対応について

3月11日に女川原子力発電所1号機の常用高圧電源盤において地震により電源盤内の吊り下げ設置型の高圧遮断器が大きく揺れ、周囲の構造物と接触したことに伴い発生したアーク放電の熱による出火と推定される火災が発生しました。保安院は、同様の火災発生を防止するため、5月31日、各電力会社に対して、吊り下げ設置型の高圧遮断器の有無を確認し、同型の高圧遮断器が存在している場合には、耐震性の高い構造の高圧遮断器への設備更新を実施すること、吊り下げ設置型の高圧遮断器の下部に耐震架台を設置すること等の火災防護上必要な措置に関する実施計画を策定・報告することについて指示をしました。

(3) 地震計データ収録装置に関する調査指示について

3月11日に発生した地震により、福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所における地震観測記録のうち、一部の観測記録について地震計のデータの収録装置のプログラムに不具合があり、記録が中断していたことが判明しました。

近接する位置の完全な観測記録と比較した結果、最大加速度値等がおおむね同程度であること、地盤で完全な観測記録が取得されていることを確認しており、今後の検討において大きな影響は無いと考えていますが、今回の収録装置の不具合を踏まえ、5月31日、保安院は電力会社等に対して収録装置を対象に、同様の不具合の有無を調査し、その結果及び必要に応じて実施した改修の結果について報告するよう指示しました。

(4) 内閣府原子力安全委員会の指示に基づく耐震安全性の評価に係る対応指示について

4月28日、原子力安全委員会から、保安院が実施している新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性評価を進めるに当たっての東北地方太平洋沖地震を踏まえた意見が示されたことを受け、保安院は、過去の地質調査等の情報のうち、耐震設計上考慮する必要がある断層に該当する可能性の検討に当たって必要な情報を報告することを求めました。（5月11日定例会お知らせ済）

5月31日、保安院は、東京電力等から調査結果の報告を受けました。今後、提出された報告について厳正に確認し、然るべき対応を取ります。

2. 緊急安全対策等の地元説明について

保安院は、5月6日に公表した福島第一原子力発電所における原子力災害を踏まえた緊急安全対策の対応状況や今後の方針などについて、5月9日の経済産業大臣から発表された「地元の自治体の皆様の理解が得られるよう、原子力安全・保安院から説明させる」とする談話を受け、5月20日、柏崎市長、刈羽村長に対して説明を行いました。

<検査実績（5月12日～6月1日）>

保安検査 : 5月30日～

以 上